

リスク低減対策のまとめ

部署名:

2012.04.16

	作業名	作業内容(設備・機器)	危険性(災害に至るプロセス)	リスク評価(現状)					リスク低減措置内容	措置後のリスク評価(予測)					残存リスク内容と対策検討事項
				危険に 近づく 頻度	けがの 可能性	けがの 大きさ	リスク ポイント	リスク レベル		危険に 近づく 頻度	けがの 可能性	けがの 大きさ	リスク ポイント	リスク レベル	
	A生産建屋 暑熱対策	A生産建屋内作業	A生産建屋内には乾燥機があり、 また、水を多く使用するので特に夏季 には高温多湿の作業環境下になり、 作業者が熱中症になる恐れがある。	4	2	6	12	Ⅲ	屋根に遮熱塗装工事(フッ素塗装)を施し効果を確認した。 夏季室温:4～5℃低下 (寿命15～20年)	3	1	1	5	I	室温は低下したが、まだ30℃前後ありリスクは残っている。 日常の体調管理と正しい知識が必要。 夏季は、毎朝の朝礼時に注意喚起を実施。 職場会等で熱中症の説明・予防と応急処置の教育実施。